徳泉寺報

No.0037

発行
令和２年１１月
発行元 徳 泉 寺
仙台市宮城野区
榴岡 3-10-3
(022)297-4248
tokusenji.sendai
@gmail.com

小学2年生が 町たんけんにやってきた

毎年七月になると榴岡小学校の二年生の子どもたちが生活科の授業の一環として『町たんけん』と称し、学区内の各所施設を見学してまわります。今年はウイルス感染予防のために開催が遅れ、十一月に入ってからの授業実施となりました。いつもより少し背が伸びて、しっかりした顔立ちの二年生。質問も多岐に渡りました。

・お寺と神社の違いはなんですか。
・どんなお仕事をしているんですか。
・どうして本堂はこんなに金色が多いんですか。
・一日何人ぐらいの人が来ますか。　などなど。

なかには「大人になったらお坊さんになってここに住みたい。」なんて言ってくれる子も。久しぶりに明るい声が本堂に響きました。

そのなかで、一番多い質問にお答えします。

徳泉寺はいつからあるんですか。

徳泉寺の歴史

徳泉寺は正式には真宗大谷派　勝光山（しょうこうざん）徳泉寺といいます。

開基は柳町医業関口東最の長子、宗圓（しゅうえん）で江戸時代初期にあたる1624（寛永元）年～1629（寛永六）年の間に開山。現在地に寺院が建立されたのは、1644（正保元）年～1664（寛文四）年の間で、1683（天和三）年には本山東本願寺より「徳泉寺」の寺号を受けています。

建物は江戸、明治期に四回の火災にあっています。1978（昭和五十三）年の宮城県沖地震によりそれまでの本堂が倒壊し、翌1979（昭和五十四）年に現在の本堂が再建されました。その後、同朋会館、庫裡（住まい）、塀が順次整備されています。

（第十五世　関口宗念　調査・徳泉寺ホームページより）

この地に寺院が建立されてから約三五〇～三七〇年、聞法の道場として人々と共にあるお寺を目指し、活動を続けています。

INFORMATION

修正会

2021年1月1日
10時30分より
徳泉寺本堂にて
勤行、法話
持ち物　お念珠、勤行本

新しい年の初めの一日。
いろいろなことがありますが
粛々と新年最初のお勤めを行いたいと思います。
例年とは少し違った形になるかもしれませんが、新たな一年に手を合わせ、願いを受け取る元日になりますように。